

## 形質転換

### 形質転換 けいしつてんかん

ある遺伝形質をもつ細菌（供与菌）から抽出したDNAを他の細菌（受容菌）に与えることにより、受容菌の遺伝的性質が供与菌のものに変わる。1928年、グリフィスにより肺炎球菌の無毒性の株（受容菌）が有毒性の株（供与菌）からの抽出物によって有毒化される現象が発見され、その原因物質として、1944年、アヴェリーによって抽出物質がDNAであることが確かめられた。同様な現象は哺乳類細胞でも起こる。

---

<登録年月>

1998年02月

---

---